木を植えています
私たちはイオンです

第30期
中間報告書

2010.2.21～ 2010.8.20

イオンクレジットサービス株式会社

証券コード：8570

株主の皆さまへ

新たな収益源の拡大に継続して取り組み、事業構造の転換に向けた国内外での取り組みを一層進めてまいります。

第30期 中間連結決算ハイライト

（単位：億円）

	当中間期	前年同期比
取扱高	15,746	109%
営業収益	825	97%
経常利益	85	102%
中間純利益	38	改善額 ＋100

配当金の状況

	第29期	第30期
中間配当金	15円	15円
期末配当金	25円	25円（予想）
年間配当金	40円	40円（予想）

代表取締役社長
神谷　和秀

CONTENTS

株主の皆さまへ.....1
国内事業 1.....3
国内事業 2.....5
海外事業.....7
CSRへの取り組み.....9
連結財務諸表の概要.....11
会社データ.....13

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第30期中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

当中間期の業績

当中間期は、企業収益および消費動向に一部回復傾向が見られるものの、クレジット業界におきましては貸金業法改正への対応に続き、割賦販売法の完全施行に向けた対応等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社では国内外において、カード会員募集を継続して強化した結果、連結の有効会員数は期首より82万人純増の2,638万人に拡大するとともに、電子マネーWAONの会員募集強化、加盟店開発の推進により、WAON発行枚数は期首より250万枚増の1,590万枚、利用可能場所は期首より43,500ヶ所増の94,000ヶ所に拡大させることができました。

フィービジネスの推進といたしましては、イオン銀行代理店の新規出店による口座数拡大を図るとともに、銀行事務処理業務の受託拡大に取り組みました。また、新たな取り組みとして株式会社イオン銀行とATMの設置、運営、利用促進を行うATM共同事業を開始するとともに、プライベートブランドの保険商品を展開する少額短期保険事業の開始準備を進めております。

海外事業では、日本同様に、継続して会員募集の強化を図るとともに、提携先加盟店との共同企画実施により取扱高の拡大に取り組みました。

以上の取り組みの結果、当中間期の連結業績は、取扱高1兆5,746億68百万円（前年同期比108.5%）と好調に推移いたしました。営業収益は、電子マネー収益の取り扱いの見直しによる58億47百万円の減少等により、825億68百万円（同97.2%）となりました。また、タイ、マレーシアにおいて、貸倒引当金を積み増ししたことにより、営業利益は85億9百万円（同97.8%）、経常利益85億80百万円（同101.9%）となりました。なお、中間純利益は38億46百万円と前年同期に比べ、100億19百万円の増益となりました。

単独業績につきましては、取扱高1兆4,126億85百万円（前年同期比107.9%）、営業収益555億15百万円（同96.7%）となりました。また、営業利益は銀行代理業等、新規事業への投資を継続して強化する一方、ローコストオペレーションを徹底したことにより37億60百万円（同119.2%）、経常利益47億27百万円（同120.0%）、中間純利益は28億14百万円と前年同期に比べ、102億35百万円の増益となりました。

当期の見通し

当社を取り巻く環境は、今後とも厳しい状況が続くと思われますが、当社では事業構造の転換に向けて、クレジットカードや電子マネーを中心とした決済事業の強化、銀行代理業、インターネット事業等のフィービジネスの推進、香港、タイ、マレーシア現地法人を通じた周辺国での事業基盤確立に継続して取り組んでまいります。また、ローコストオペレーションの推進を図るなど、経営体質を強化し、事業構造の転換をより一層進めてまいります。

2010年10月

決済事業の強化

クレジットカード事業に加え、電子マネー事業の拡大により、決済事業のさらなる強化に取り組んでまいります。

取り組み 1

カード会員拡大の取り組み

クレジットカード事業では、クレジットカード、キャッシュカード、WAON の機能・特典が一体となった「イオンカードセレクト」の会員募集を継続して強化した結果、イオンカードセレクト会員数は累計 90 万人となりました。

取り組み 2

カード取扱高拡大の取り組み

会員募集の強化に加え、提携先企業との共同企画やカード会員さま向けのお買い上げ抽選会の実施、「お客さまわくわくデー」の推進など、カード取扱高の拡大を図りました。これらの取り組みの結果、国内の有効会員数は、期首より49万人純増の1,857万人、稼働会員数は、期首より47万人純増の1,162万人、カードショッピング取扱高は、1兆1,927億74百万円(前年同期比113.7%)となりました。

イオンカードセレクト

お客さまわくわくデー

取り組み 3

電子マネー事業の拡大

WAONの地域マネーとしての展開を推進するため、地域商店街との提携カード発行や株式会社吉野家をはじめとした外部加盟店の開発を強化いたしました。これらの結果、電子マネー総取扱高は4,144億75百万円(前年同期比177.7%)と大幅に拡大いたしました。

株式会社吉野家でのWAON利用

WAONチャージャー

フィービジネスの推進

銀行代理業、インターネット事業などのフィービジネスを推進し、新たな収益源の確立を目指してまいります。

取り組み 1

銀行代理業の強化

インストアブランチを新たに 5 店舗開設、累計 54 店舗に拡大し、継続して口座募集および住宅ローンの取り次ぎ業務を強化いたしました。

取り組み 2

ATM共同事業の取り組み

ATM利用推進キャンペーンの実施やグループのショッピングセンター、コンビニエンスストアへのATM新規設置を強化し、お客さまの利便性向上を図りました。

イオン銀行ATM

取り組み 3

プロセッシング事業の拡大

口座開設センターやカスタマーセンターでの銀行業務の受託強化に取り組むとともに、拡大する銀行事務処理業務に対応するため、千葉に続き大阪にカスタマーセンターを開設いたしました。

カスタマー センター

取り組み 4

インターネット事業の強化

ネットメンバー専用ショッピングサイト「ときめきポイントTOWN」の加盟店数拡大や、イオンレジ導入企業の開発強化に取り組むとともに、ネットメンバーの拡大に継続して取り組みました。

ときめきポイントTOWN

取り組み 5

国内関連企業の取り組み

■ イオン保険サービス株式会社

インターネット、ダイレクトメール、全国に展開する保険ショップ50店舗の店頭での保険販売を強化したことにより、順調に業容の拡大を図ることができました。また、保険代理店事業に加え、カード会員向けに自社にて開発した家財保険や医療保険をご提供するため、少額短期保険事業の開始に向け準備を進めております。

■ エー・シー・エス債権管理回収株式会社

公共料金等の集金代行業務の拡大を中心とした営業活動に継続して取り組みました。

海外事業の強化

香港、タイ、マレーシアの現地法人を中心に、周辺国での事業基盤の確立に取り組み、さらなる業容の拡大を目指してまいります。

地域 1

マレーシア

クレジットカード事業においては、提携先企業との共同企画実施、ポイント一体型カードの会員募集強化に取り組むとともに、ハイヤーパーチェス事業においては、カード会員データの活用、地方都市でのモーターバイクや家電量販店の加盟店開発を強化いたしました。その結果、取扱高は5億5百万リンギット(前年同期比109.7%)と順調に推移いたしました。

地域 2

中国・香港

香港では、カード会員向け利用促進策の実施に取り組んだことにより、取扱高は33億66百万香港ドル(前年同期比111.6%)と順調に推移いたしました。中国では、プロセッシング事業の拡大を図るとともに、法人向け保険販売の取り扱いを強化する等、営業基盤の拡大に取り組みました。

深圳 事務センター

地域 3

タイ

クレジット、保険商品等の金融商品をワンストップで取り扱う新たな営業拠点の開設、現地小売業等とのカード利用促進キャンペーンの実施により、取扱高は327億40百万バーツ(前年同期比118.0%)となりました。また、クレジット周辺事業も、順調に業容拡大を図ることができております。

金融サービスカウンター

地域 4

台湾

大手ディベロッパーとの提携によるグローバルモールカードの発行を開始するとともに、加盟店精算業務を積極的に推進いたしました。その結果、取扱高は14億7百万台湾ドル(前年同期比125.7%)と順調に拡大させることができました。

提携カード募集カウンター

地域 5

新たな地域

■ インドネシア

積極的な加盟店開発の強化、加盟店と一体となった共同企画の実施により、取扱高は545億23百万ルピア(前年同期比244.2%)と大幅に増加いたしました。この結果、継続して増収増益を果たすことができております。

■ ベトナム

現地大手家電販売店をはじめとした加盟店開発の強化に継続して取り組んだ結果、取扱高は658億1百万ドン(前年同期比282.5%)と順調に拡大させることができました。

環境保全・社会貢献活動の推進

企業市民として社会的責任を果たし、企業価値を継続的に高めるため、お客さまとともに環境保全・社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。

取り組み 1

環境保全活動の推進

中国万里の長城、カンボジア、ベトナム植樹をはじめ、国内では北海道支笏湖植樹など、国内外6ヶ所において植樹活動を行いました。また、従業員による清掃活動を全国で実施するとともに、各事業所での電気使用量やガソリン使用量の削減等に積極的に取り組んでおります。

取り組み 2

Web明細の登録推進

環境保全の取り組みとして、郵送でお送りしておりますご利用明細書をインターネットで閲覧することができる「Web明細(環境宣言)」の登録を推進し、会員数を期首より18万人増の48万人に拡大し、月間240トンのCO_2削減を図ることができております。

Web明細(環境宣言)

取り組み 3

地域社会への貢献活動

事業活動を通じた社会貢献活動に積極的に取り組むとともに、地域の皆さまとともにさまざまな活動を実施しております。従業員による社会福祉施設でのボランティア活動に加え、千葉県青少年協会「食育お米作り」を支援し、地域の子供たちとともに田植え・稲刈りによる交流を行いました。

千葉県青少年協会「食育お米作り」

取り組み 4

海外現地法人の取り組み

■ 香港

イオンクレジットサービス(アジア)では、「ユニセフ青年大使プログラム」、「香港特別行政区優秀学生コンテスト」への寄付活動を継続するとともに、現地従業員によるボランティア活動、植樹活動を行いました。

従業員による植樹活動「香港植樹日2010」

■ タイ

イオンタナシンサップ(タイランド)では、ハイチで発生した地震による被災者への寄付、事務集中センターでの献血活動、社会福祉施設への寄付・交流活動等、地域に合わせた活動を積極的に実施いたしました。

ハイチ共和国への寄付贈呈式

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前 期 2010年2月20日現在	当中間期 2010年8月20日現在	増減
【資産の部】			
流動資産	769,527	806,005	36,477
現金及び預金	23,875	24,730	854
割賦売掛金	300,782	347,365	46,582
営業貸付金	423,324	408,040	△15,283
その他	74,158	77,738	3,579
貸倒引当金	△52,613	△51,869	743
固定資産	96,718	95,623	△1,095
有形固定資産	9,929	12,416	2,487
無形固定資産	12,605	15,361	2,755
投資その他の資産	74,183	67,844	△6,338
繰延資産	119	100	△19
資産合計	866,364	901,728	35,363

	前 期 2010年2月20日現在	当中間期 2010年8月20日現在	増減
【負債の部】			
流動負債	272,178	314,687	42,509
短期借入金	18,671	7,381	△11,290
1年内返済予定の長期借入金	93,891	123,475	29,584
1年内償還予定の社債	16,811	14,081	△2,729
その他	142,804	169,749	26,945
固定負債	417,468	410,972	△6,496
社債	89,053	82,124	△6,928
長期借入金	301,736	272,209	△29,527
債権流動化借入金	—	30,000	30,000
利息返還損失引当金	22,840	19,552	△3,288
その他	3,837	7,085	3,248
負債合計	689,647	725,660	36,013
【純資産の部】			
株主資本	161,712	161,636	△75
資本金	15,466	15,466	—
資本剰余金	17,046	17,046	—
利益剰余金	129,386	129,310	△75
自己株式	△187	△187	△0
評価・換算差額等	△5,733	△6,323	△589
少数株主持分	20,739	20,754	15
純資産合計	176,717	176,068	△649
負債純資産合計	866,364	901,728	35,363

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間期 2009年2月21日から2009年8月20日まで	当中間期 2010年2月21日から2010年8月20日まで	前年同期比（%）
営業収益	84,931	82,568	97.2
総合あっせん収益	27,212	30,637	112.6
個品あっせん収益	3,954	4,194	106.1
融資収益	41,425	37,424	90.3
業務代行収益	5,513	3,129	56.8
償却債権取立益	1,419	1,463	103.1
その他	5,313	5,682	106.9
金融収益	92	36	39.3
営業費用	76,233	74,058	97.1
営業利益	8,697	8,509	97.8
営業外収益	214	201	93.9
営業外費用	493	130	26.5
経常利益	8,417	8,580	101.9
特別損失	16,057	—	—
税金等調整前中間純利益又は中間純損失(△)	△7,639	8,580	—
法人税等合計	△3,280	3,173	—
少数株主利益	1,813	1,560	86.0
中間純利益又は中間純損失(△)	△6,172	3,846	—

連結キャッシュ・フロー計算書

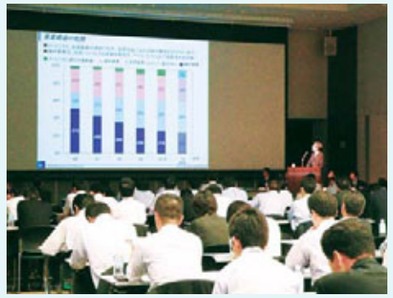
（単位：百万円）

	前中間期 2009年2月21日から2009年8月20日まで	当中間期 2010年2月21日から2010年8月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,242	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,504	△6,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,025	7,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	△458
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△32,376	504
現金及び現金同等物の期首残高	60,202	23,012
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	69	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,895	23,516

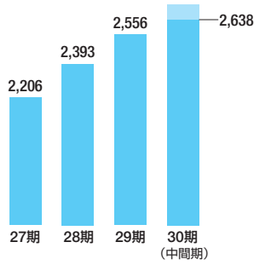
ＩＲ説明会の実施

多くの投資家さまに当社をご理解いただくため、投資家さま向けIR説明会を実施しております。

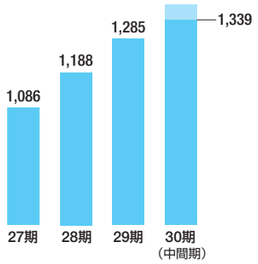
当社では中間期および本決算期に、投資家さま向けIR説明会を実施しております。
説明会では業績概要や今後の重点実施事項等についてご説明させていただいております。今後も引き続き、投資家の皆さまへの情報開示に力を入れてまいります。



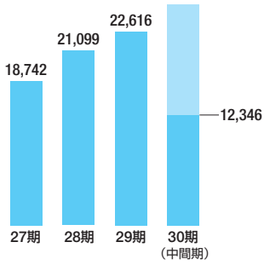
有効会員数（万人）



稼働会員数（万人）



カードショッピング取扱高（億円）



会社概要

（2010年8月20日現在）

商号	イオンクレジットサービス株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 （証券コード:8570）
本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
電話番号	（03）5281-2030（代表）
URL	http://www.aeoncredit.co.jp/
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円

取締役および監査役

（2010年8月20日現在）

取締役会長	井元　哲夫
取締役社長	神谷　和秀
常務取締役	清永　崇司
常務取締役	黒田　成人
常務取締役	若林　秀樹
常務取締役	高野　清昭
取締役相談役	森　美樹
取締役	斉藤　達也
取締役	近藤　安彦
取締役	山田　義隆
取締役	玉井　貢
取締役	浅沼　清保
取締役	池西　孝年
取締役	伊藤　秀行
※常勤監査役	谷内　寿照
※監査役	杉原　弘泰
※監査役	山浦　耕志
※監査役	西松　正人

※ 監査役は全員、会社法に定める社外監査役であります。

株式の状況

（2010年8月20日現在）

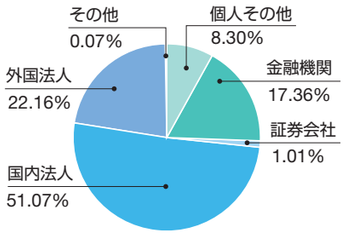
発行可能株式総数	540,000,000 株
発行済株式総数	156,967,008 株
株主数	16,564 名

大株主

（2010年8月20日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
イオン株式会社	71,576	45.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,163	4.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,935	3.14
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,389	2.80
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,037	1.94
マックスバリュ西日本株式会社	2,646	1.69
ミニストップ株式会社	2,290	1.46
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	1,816	1.16
野村信託銀行株式会社（投信口）	1,763	1.12
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	1,543	0.98

所有者別株式数の構成比



株主メモ

決算期	2月20日
基準日	定時株主総会基準日　2月20日 期末配当基準日　2月20日 中間配当基準日　8月20日
定時株主総会	5月20日までに実施
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（http://www.aeoncredit.co.jp/） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。

ホームページのご紹介

イオンクレジットサービス　検索

投資家の皆さまへの情報はホームページでもご覧になれます。
http://www.aeoncredit.co.jp/から
「株主・投資家情報」をクリックしてください。

トップページ

会社情報

株主・投資家情報

CSR情報

イオンクレジットサービス株式会社

イオンカードセレクト

イオンカード、イオンバンクカード、WAONの機能・特典が1枚に。

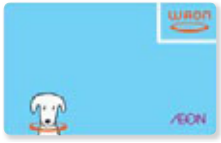
クレジットカード

＋

キャッシュカード

＋

電子マネー



▼ お申し込みはこちらから
URL http://www.aeoncredit.co.jp/

木を植えています
私たちはイオンです

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001210
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK
植物性大豆油インキを使用しています。